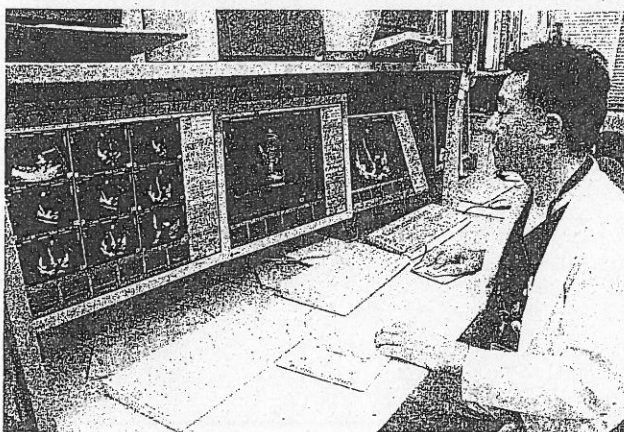


心エコー動画 送受信

徳大・県立海部病院

遠隔医療実現へ実験開始



心エコーの送受信実験に取り組む山田
副センター長＝徳島大学病院

徳島大学病院超音波センターと県立海部病院（牟岐町）が、ICT（情報通信技術）を活用し、両病院間で心臓超音波検査（心エコー）の動画を送受信する実験を始めた。遠隔地の患者の病状をリアルタイムで診断できるようにし、専門医が不足する地域の医療支援に役立てるのが狙い。

実験では、両病院間をつないでいる専用回線と、新たに導入したテレビ会議用のシステムを使って心エコーの動画データを送受信する。山田博胤副センター長（超音波医学）を中心に、08年11月から実験計画を進め、今年2月に初めての送受信テストを実施。送受信がスムーズに行えるかや画像の鮮明度などを確かめた。近く2回目の実験を行う。

センターによると、心エコーは心臓弁膜症や心筋症などの診断に有効だが、専門医でないと病状を見分けにくい。山田副センター長は「診察のた

め、専門医のいる病院まで足を運んでいる患者の負担軽減に役立てるために、心エコーの動画で実験することにした」と話している。

両病院では、県が12年度以降の導入を目指すICTを使った全体的な遠隔医療システムとの連動も視野に入れ、今後、県と協議していく。